



志保井が丘

平成28年2月18日

第23号

生徒数 1年46名 2年51名 3年59名 計156名 発行責任者：校長 半澤 敏

二もとの梅に遅速を愛すかな 蕪村

暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒さは続いています。しかし、学校の花壇にも、春が着実に歩み寄っているのを見て取ることができます。

3年生は、すでに私立高校への進学を決めた生徒もおりますが、これから県立高校Ⅱ期選抜入試を控え、緊張した日々を迎えています。その追い詰められたような表情に接するとき、ふとこのような句境を追ってみたいくなる今日この頃です。ほんとうに大変な時期だけに、いたずらに追い立てるよりもその心情に温かく寄り添ってやりたいと思います。春の暖かさもそこまで来ています。

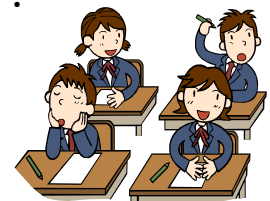
2年生の最近のご家庭での話題はどんなことでしょうか。学校では、なんといいましても3年生の高校入試についてです。部活動や生徒会活動で世話になっている先輩たちのことが気になるのでしょうか。それとも、来年は自分の番だということからでしょうか。いずれにしても、最上級生目前です。精神的にも身体的にも、そして学力的にも、本物として通用する最上級生へと努力しましょう。

1年生はいよいよ1年生最後の3月を迎えます。お子さんの現在と4月入学当初を比較してみてください。男子の中には、お母さんの背丈を越えたお子さんもいることでしょうか。身体だけでなく、心の面はいかがでしょう。思春期の難しい時期にさしかかっている子、そこからの脱出が始まり、自立へあがいている子。どの子も全員が成長しています。中堅学年になる希望や夢、こんな点をがんばりたい抱負などご家庭でもぜひ話題に取り上げていただきたいと思います。



「やる気」を育てる！ ～大切な生活リズム～

「次の時間は、理科室で〇〇〇をやります。準備物は、教科書・ノート・資料集、それに、元気・やる気・根気・学習に必要な体力と学力。特に、やる気を家に忘れてくるなよ」私が教諭時代、次の授業の予定や準備物について尋ねに来る教科員によく言っていたことです。特に強調していたのが「やる気」です。この「やる気」について少し掘り下げてみましょう。



まず、「やる気」のルーツについて探ってみましょう。一体子どもたちは、どんな時に「やる気」が起きるのでしょうか。ある中学校の1年生に尋ねたアンケートによると、

<やる気が湧くとき>

- ・気分がいいとき
- ・ひまなとき
- ・疲れていないとき
- ・心が弾むとき
- ・うれしいとき
- ・テストのとき
- ・勉強がすごくわかったとき

<やる気が起きないとき>

- ・遊びたいとき
- ・きげんが悪いとき
- ・見たいTVややりたいゲームがあるとき
- ・眠いとき
- ・疲れているとき
- ・腹がへっているとき
- ・勉強をやれ、やれと親から言われるとき

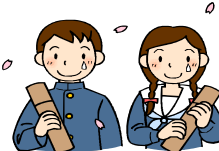
この結果からわかることは、生活が大切だということです。毎日が健康で楽しい学校・家庭生活であることです。毎日正しいリズムで生活を送り、眠くなる前に2時間ぐらいの家庭

学習が確保されれば、「勉強がわかって」ますます「やる気」が湧くようです。

何よりも親が気をつけたいことは、本人の自発性を育てるのではなく、すぐに「勉強は？」「TV見ていいの？」「宿題終わったの？」などと口うるさく言うことは、子どもたちが一番嫌いで、「やる気」をなくすことだということです。意欲的な生活づくりの中でこそ、自主的に学習に取り組む心が育つのです。

卒業式って何？ 卒業式の意義とは・・・

明日、2月19日（金）に第1回卒業式全体練習が行われます。式次第により卒業生、在校生の起立、着席、礼などの動き、式歌、送辞、答辞などの練習を行います。



ところで、卒業式って何？ 卒業式の意義とは何でしょう？

学校の教育課程と呼ばれる教育活動の計画の中には、教科の指導計画や総合的な学習の時間、特別活動などの計画があります。特別活動の中には、学級活動や学校行事があります。

学校行事の中に、「儀式的行事」と呼ばれる活動があります。入学式や始業式、終業式、修了式、卒業式など『式』という文字のつく行事です。

「儀式」の意味を辞書で調べてみると、「人々が集まり、一定の型にしたがった式次第によって行う厳粛（げんしゅく）な行事で、卒業式や成人式、結婚式など、社会生活をしていく上で、重要な節目となるもの」とありました。

また、「厳粛（げんしゅく）」の意味は、「心に深く感じて、しみじみと思うことがあって、おもおもしろく、心がひきしまる感じ」とありました。

卒業式は、卒業証書授与式ともいい、中学校の学校行事の中でも最も大切な行事です。

中学校の卒業式は、3年間の中学校生活が終わった儀式、さらに9年間の義務教育を修了する儀式です。卒業生が授与される卒業証書には、「中学校の全課程を修了したことを証する」と書かれています。国が決めた9年間の義務教育を無事終えることができましたという証です。

卒業式には、4つのねらいがあります。

① 卒業生の前途を祝福する。

もちろん主役は、卒業生です。在校生・先生方・保護者・来賓の方々みんなで卒業を祝います。

② 学校・家庭・地域社会への感謝の気持ちを養う。

卒業生が、保護者と来賓として福島市長様、福島市教育委員会様、同窓会長様、PTA会長様をはじめ多くの地域の方々をお招きし、これまでお世話になった感謝の気持ちを表すとともに、卒業生は、立派になった自分の姿を皆様に見ていただく機会です。卒業生は堂々と立派な姿を見せてほしいと思います。

③ 将来への希望と決意を持たせる。

来賓の方々から「祝辞（お祝いのことば）」をいただきます。卒業生の卒業と新たな門出と前途を祝福することばをいただきます。「祝辞」に込められた来賓の方々の思いをしっかり受け止め、将来への希望や決意を持つことができるよう真剣に話を聞きましょう。

卒業生の将来への希望や決意、学校・家庭・地域社会への感謝の気持ちは、卒業生代表の「答辞」で述べられます。

④ 在校生が、よりよい伝統の継承と発展を誓う場

在校生の「送辞（はなむけのことば）」。

在校生は、卒業生への感謝とはなむけのことばを贈ると同時に、卒業生が築いてきたよりよい伝統を自分たちが受け継ぎ、さらに発展させていくことを誓う場です。2年生は、卒業生から引き継いだ伝統を胸を張って後輩に引き継ぐことができる卒業生になっているか、1年後の自分の姿を、1年生は2年後の自分を思い描いてみてください。

在校生も式を通して、卒業生からの伝統の継承と発展を誓う場としてほしいと思います。

卒業式の意義をよく理解し、厳粛な中に喜びや温かさの感じられる思い出に残る式をみんなで作り上げましょう。

※ 学校の教育活動に対する質問等がありましたらお電話ください。電話562-2325